

パワハラでは？

鎌田 伸一 82 (高知市八反町)

本紙の「出放題」は、鋭い風刺と巧みなユーモアで毎回楽しませてもらっている。4日付には「三石氏机たたき立腹 机でよかつた！」「自民県連」が載った。思わず「うまい！」とうなつた。

6月30日、県議会総務委員会でのことである。自民党の三石文隆氏が発言中、共産党の秦愛氏が口を挟んだことで机をたたいた。

明神健夫委員長の「調査したら（執行部は）働き方改革の中でたまらんじやないかよ」との発言も納得できない。執行部の許容範囲でしかもの言えないとしたら、議員は県民の代表ではなくなる。

三石氏の「ごうごうとかそいうんじやなくて」の発

言に対して「そう聞こえる」と秦氏らが言ったとして、机をたたいて怒るといふのは冷静さを欠いているのではないか。

新人の女性議員に対するこのような態度は、パワハラと言われても仕方ないのではないか。ベテラン議員として器量が小さすぎはしまいか。議会で多数を占めている驕りの表れではないだろうか。

調査ということでは、三石氏も道徳教育や卒業式での日の丸、君が代等について、教育委員会にたびたび調査を要求しているではないか。税金で給与をもらっている公人として、いささか謙虚さに欠けるのではあるまいか。